

関東ふれあいの道(茨城)⑦御嶽山から坂東 24 番札所へのみち

2021 年 9 月 5 日池内淑皓

2021 年 4 月 24 日(土)快晴 コロナで自粛期間中であるが、朝早く横浜を脱出して、宇都宮線小山駅から水戸線に乗り換えて岩瀬駅に向かう。

関東ふれあいの道は、今まで歩いて来た栃木・茨城県境の八溝山地を離れて、今度は筑波山塊の尾根を、北の初めから南の終わり、国道 125 号線の北条まで歩く事となる。関東の名山筑波山に向かって歩く、楽しみだ。



筑波山塊概念図

(桜川市観光パンフ)



「関東ふれあいの道(茨城)⑦御嶽山から坂東 24 番札所へのみち」 案内板



関東ふれあいの道コース概念図（桜川市観光協会）



今日の出発地点の鉄道下車駅は、水戸線「岩瀬駅」8:58 到着



駅前からそのまま歩き出すと、桜川市観光協会の看板が道案内してくれる



御嶽山入口の駐車場前には、石造りの立派な案内板もある



もちろん、関東ふれあいの道石柱もある



江戸時代の石標も健在(右御嶽山道と読める)



登り始めは杉林の中を歩くが



高度を上げ尾根道に出ると、雑木林に変わる



程なく標高 230mの御嶽山に着く、頂上には御嶽神社が鎮座している



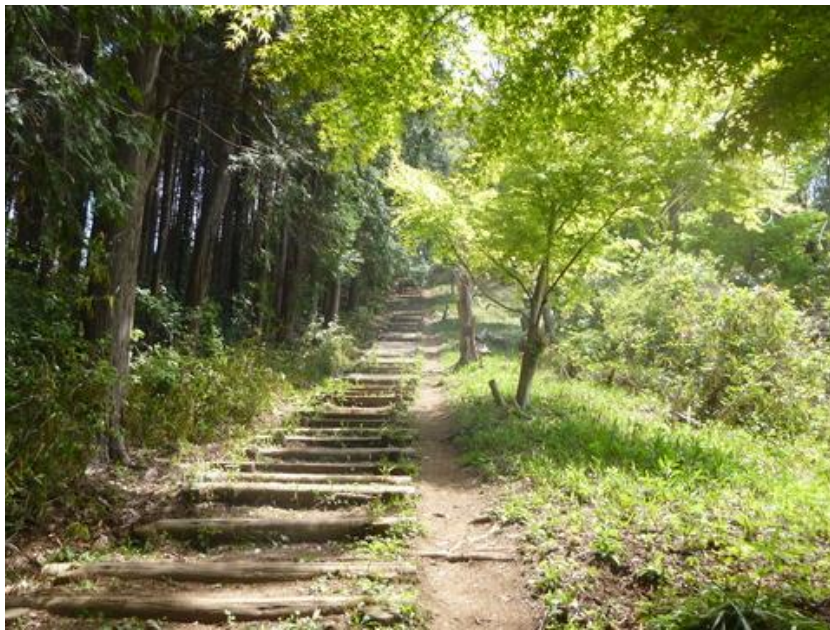
このコース、4月には桜と山つつじが満開との事、パンフレット通りだ



道標も山つつじに囲まれている



当然、関東ふれあいの道石柱も花の中



傾斜がきつくなると、長い木道に変わり



ゆるやかな道になると、快適な稜線散歩となる



御嶽山から小一時間程で、標高 410mの「雨引山」に着く。東屋もあるから休憩するには最適、案内板もある



頂上から尾根を少し下ると、雨引観音への道に入る。

今日のコースは尾根を行かず、雨引観音に参拝してから下山となる、比較的楽なコースとなっている



坂東 24 番札所の雨引観音山門に到着



「雨引山樂法寺」本尊:延命観世音菩薩(国指定重要文化財)

587 年中国の宝輪独守居士が開山、安産・子育ての霊場



多宝塔: 嘉永年間の建立。左手の高い松の木は、紀伊国屋文左衛門手植えと伝える



観音から見た桜川市真壁の町並みと、筑波山



ゴールの旧雨引駅への下り道は笹藪を潜り、



いつものように窪地を歩く



雨引の町はずれに出た



「雨引千勝神社」大同 2 年 (807) 創建。

神社の紋章菊水は、楠正成が常陸の国に来た時、戦勝祈願のため彫りこんだと伝える



道は田圃の畦道を通り町に向かう、後方の山は「加波山」明日登る山だ



今日のゴールは元筑波鉄道の雨引駅。



現在線路跡は「つくば霞ヶ浦りんりんロード」としてサイクリングコースとなっている



「筑波鉄道」筑波山麓の人達に親しまれていた鉄道も、時代の波には勝てず
1987年(昭和62年)廃線となった。岩瀬駅から常磐線土浦駅間40kmを走っていた



今宵は真壁宿の宿屋に泊まる。真壁宿は真壁城下町である

[参考タイム] 岩瀬駅(9:05)→御嶽山(9:50-10:00)→雨引山(10:55-11:15)→雨引観音(11:50-12:00)
→千勝神社(12:40-12:50)→旧雨引駅(13:15-13:20)→バス→真壁下宿(13:45)

「関東ふれあいの道(茨城)⑧筑波山縦走の道(Ⅰ)」に続く